



2020年卒 大学生就職活動調査

結果報告書

2019年4月10日

一般財団法人 雇用開発センター

【調査の背景／目的】

この報告書は一般財団法人雇用開発センターが2019年度に行った「2020年卒大学生就職活動調査」について集計結果をまとめたものです。

2020年卒の就活スケジュールは、経団連が提唱する「採用選考に関する指針」により、2019年の3月に広報開始、6月から選考開始となっております。

しかし、実際には、多くの企業が2018年の4月からインターンシップという形で学生と接觸しており、売り手市場により、採用活動が早期化しています。

本調査は、この状況下で活動している学生に対し、

- ・大学3年生3月時点の内々定率
- ・就職活動の開始時期
- ・インターンシップの参加率
- ・就活スケジュールへの評価

などについて確認することで、現在の就職活動における学生の意識・行動を把握することを目的と致しました。

この調査が、現在の新卒就職活動市場における、学生の意識や就活への取り組みをご理解頂く一助になり、採用企業・大学様には、就活学生への対応・支援の参考にして頂ければ幸甚です。

【調査実施概要】

本調査は下記のとおり実施された。

1. 調査実施時期

- 2019年3月4日～10日

2. 調査対象者

- 全国の2020年3月卒業見込みの学生
- 四年制大学の大学3年生
- 就職活動を終了、または現在就職活動中
- インターンシップの参加者

3. 有効回収数

- 362名(男性:172名／女性:190名)

4. 調査方法

- オンライン調査

5. 調査実施機関

- インターンシップの参加者

結果のまとめ	1	
1. 対象者の属性	2	
2. 就職活動の現況	3	
3. 内々定の取得状況		
(1) 内々定取得率	4	
(2) 内々定取得状況	5	
4. 各種就職活動について		
(1) 就職活動開始時期	6	
(2) インターンシップの参加	7	
(3) インターンシップの参加期間	8	
(4) インターンシップ参加企業からのアプローチ	9	
(5) インターンシップ参加企業からのアプローチ内容	10	
(6) インターンシップ参加企業への入社意向	11	
(7) 面接経験	12	
(8) 面接社数	13	
(9) UIターン就職意向	14	
5. 就職先の基準	15	
6. 各種就職情報の利用について		
(1) 就職情報サイトへの登録	16	
(2) キャリアセンター利用有無	17	
(3) キャリアセンター非利用理由	18	
(4) 就職活動でのスマホとPCの活用	19	
7. 就活スケジュールについて		
(1) 就活スケジュールの評価	20	
(2) 就活スケジュールの順守	21	
(3) 企業の就活スケジュールの影響	22	
8. 仕事観や自身の強みについて		
(1) 仕事観	23	
(2) 職業能力に対する自身の強み	24	

参考:調査票

1. 対象者の属性

今回の調査は、2020年3月卒業見込みで「就職活動を終了した」または「就職活動中」の大学3年生を対象とした。卒業後の志望進路は、「民間企業で働く」が72.4%、「教員・公務員・団体職員として働く」が26.0%である。

2. 就職活動の現況

調査時点(大学3年生の3月上旬)で85.6%の学生が就職活動中となっている。一方で、「まだ就職活動をしていない」学生も13.3%と、一定数存在している。

3. 内々定の取得状況

調査時点(3月上旬)での内々定率は、全体で6.6%であった。
男女別では、男性9.3%、女性4.2%。文理別では、文系が6.2%、理系が7.9%となっている。

4. 各種就職活動について

「3年生の6月以前」に就職活動を開始している学生が18.5%、「3年生の8月」までの累計は46.2%と約半数に迫る。3年生の夏休みを利用してのインターンシップへの参加と、それに向けての活動開始を表す数字と考えられるが、結果的に活動の早期化と長期化を招く結果となっている。

調査時点(3月上旬)で、全体で72.0%の学生が「インターンシップに參加した」と回答した。

インターンシップの参加期間は、「1日」が81.4%で最も多く、企業側のワンデーインターナーシップ導入傾向が続いている。

インターンシップに參加した企業から、參加後に何らかのアプローチを受けた学生は約半数の47.3%となっている。

アプローチの内容としては、「自社セミナーの案内」が67.3%で1位、「早期選考の案内」が56.1%で2位となっており、選考に関する案内が上位を占める。

インターンシップ参加企業への入社意向については、「入社したい」(32.3%)と「どちらかといえば入社したい」(40.3%)の合計が72.6%に上り、インターンシップが学生の就職活動に大きな影響を与えていていることがうかがえる。

調査時点(3月上旬)での面接経験率は29.3%で、面接社数は、「1社」が39.1%、「2社」が21.7%であったが、全体の平均では約3社となった。

また、UIターン就職希望者は、全体の31.2%であった。

5. 就職先の基準

就職先を選ぶときに重視する項目を3つまで選ばせた結果、「やりたいことができる」が43.9%と「福利厚生が充実している」が34.3%と高い結果であった。

6. 各種就職情報の利用について

登録している就職サイトについては、「マイナビ」が84.0%で最も多く、「リクナビ」が77.3%、「キャリタス就活」が37.0%で続き、この3社が寡占状態となっている。

キャリアセンターまたは就職課を「利用したことがある」が61.9%で「利用したことない」が38.1%となっている。

利用しない理由としては、「何となく敷居が高く入りづらい」が50.7%で最も多く、「そもそも場所がわからない」が23.2%、「利用してもメリットがない」が20.3%と続く。

就職活動でのスマホとパソコンの活用度合は、「パソコンは使わずスマホだけで活動」と「スマホが殆どでパソコンは時々使う」の合計が59.1%で、「パソコンが殆どでスマホを時々使う」と「スマホは使わずパソコンだけで活動」の合計の8.0%を大きく上回り、学生のスマホ依存が明確なものとなっている。

7. 就活スケジュールについて

前年通りとなった就活スケジュール(3年生の3月に広報開始、4年生の6月から選考開始)については、就活期間が「ちょうど良い」「短いと思う」「長いと思う」が大差なく三分される結果となった。

昨年秋の経団連の「就活ルール廃止」発表や、売り手市場による企業側の活動早期化の動きがある中、スケジュールの順守については、「スケジュールは守るべき」が39.8%と、「守るべきとは思わない」の19.3%を大きく上回った。

企業の採用活動早期化の「就職活動への影響」については、「良くない影響がある」の25.1%が「良い影響がある」の16.3%を上回ったが、「影響はない」という回答も27.1%に上る。

8. 仕事観や自身の強みについて

仕事観は、「楽しく仕事をしたい」64.1%と「仕事とプライベートを両立させたい」61.0%が多く選ばれた。

職業に対する自身の強みでは、「まじめさ・倫理観の強さ」が43.4%と最も多く、次いで「忍耐力・根気強さ」32.6%、「協調性」31.8%などが高い数字となった。

対象者の属性

- ◆ 今回の調査は、2020年3月卒業見込みで「就職活動を終了した」または「就職活動中」の大学3年生を対象とした。卒業後の志望進路で、「進学する」「留学する」「就職活動を継続する」と回答した学生は、本調査で対象としていない。
- 回答者の属性を以下に示した。
 - 卒業後の志望進路は、「民間企業で働く」が72.4%、「教員、公務員、団体職員として働く」が26.0%である。

表. 対象者の属性一覧(%)

1) 性別

	n	男性	女性
全体	362	47.5	52.5

2) 国公私

	n	国立	公立	私立
全体	362	25.1	6.9	68.0

3) 専攻

	n	文系	理系	その他
全体	362	66.6	31.5	1.9

4) 学校の所在地

	n	東京圏	名古屋圏	大阪圏	その他
全体	362	39.2	8.3	22.1	30.4

5) 卒業後の志望進路

	n	民間企業で働く	教員、公務員、団体職員として働く	進学する	留学する	起業する	就職活動を継続する	その他
全体	362	72.4	26.0	-	-	0.3	-	1.4

就職活動の現況

- 調査時点(大学3年生の3月上旬)で85.6%の学生が就職活動中となっている(すでに就職活動を終えた学生は1.1%)。
- 一方で、「まだ就職活動をしていない」学生も13.3%と、一定数存在している。

図・表. 就職活動の現況(%)

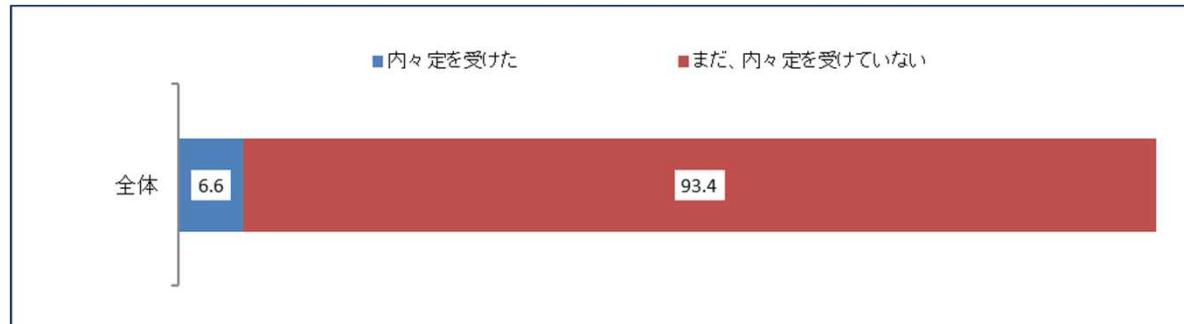


	n	すでに就職活動を終えた	現在、就職活動中である	まだ就職活動をしていない	就職活動をするつもりはない
全体	362	1.1	85.6	13.3	-
男性	172	1.7	85.5	12.8	-
女性	190	0.5	85.8	13.7	-
文系	241	1.2	87.6	11.2	-
理系	114	0.9	81.6	17.5	-
文系 × 男性	101	2.0	89.1	8.9	-
文系 × 女性	140	0.7	86.4	12.9	-
理系 × 男性	69	1.4	79.7	18.8	-
理系 × 女性	45	-	84.4	15.6	-

(1) 内々定取得率

- 調査時点(3月上旬)での内々定率は、全体で6.6%であった。
- 男女別では、男性9.3%、女性4.2%。文理別では、文系が6.2%、理系が7.9%となっている。

図・表. 内々定取得率(%)



	n	内々定を受けた	まだ、内々定を受けていない
全体	362	6.6	93.4
男性	172	9.3	90.7
女性	190	4.2	95.8
文系	241	6.2	93.8
理系	114	7.9	92.1
文系 × 男性	101	8.9	91.1
文系 × 女性	140	4.3	95.7
理系 × 男性	69	10.1	89.9
理系 × 女性	45	4.4	95.6

(2) 内々定の取得状況

- ◆ 内々定取得者における各種状況を下記に示したが、対象者数が少ないため参考値とする。

表. 内々定取得状況一覧(%)

2-1) 内々定取得社数

	n	1社	2社	3社	4社	5社以上	平均社数
全体	24	41.7	41.7	8.3	-	8.3	2.13

2-2) 内々定時期

n	2018年6月以前	2018年7月	2018年8月	2018年9月	2018年10月	2018年11月	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月	
全体	24	-	-	4.2	4.2	4.2	12.5	16.7	25.0	41.7	25.0

2-3) 内々定辞退

n	内々定の辞退 をしたことがある	内々定の辞退 をしたことがない	
全体	24	25.0	75.0

2-4) 内々定辞退数

	n	1社	2社	3社	4社	5社	6～9社	10社以上	平均社数
全体	6	66.7	16.7	-	-	-	16.7	-	2.00

2-5) 内々定辞退時期

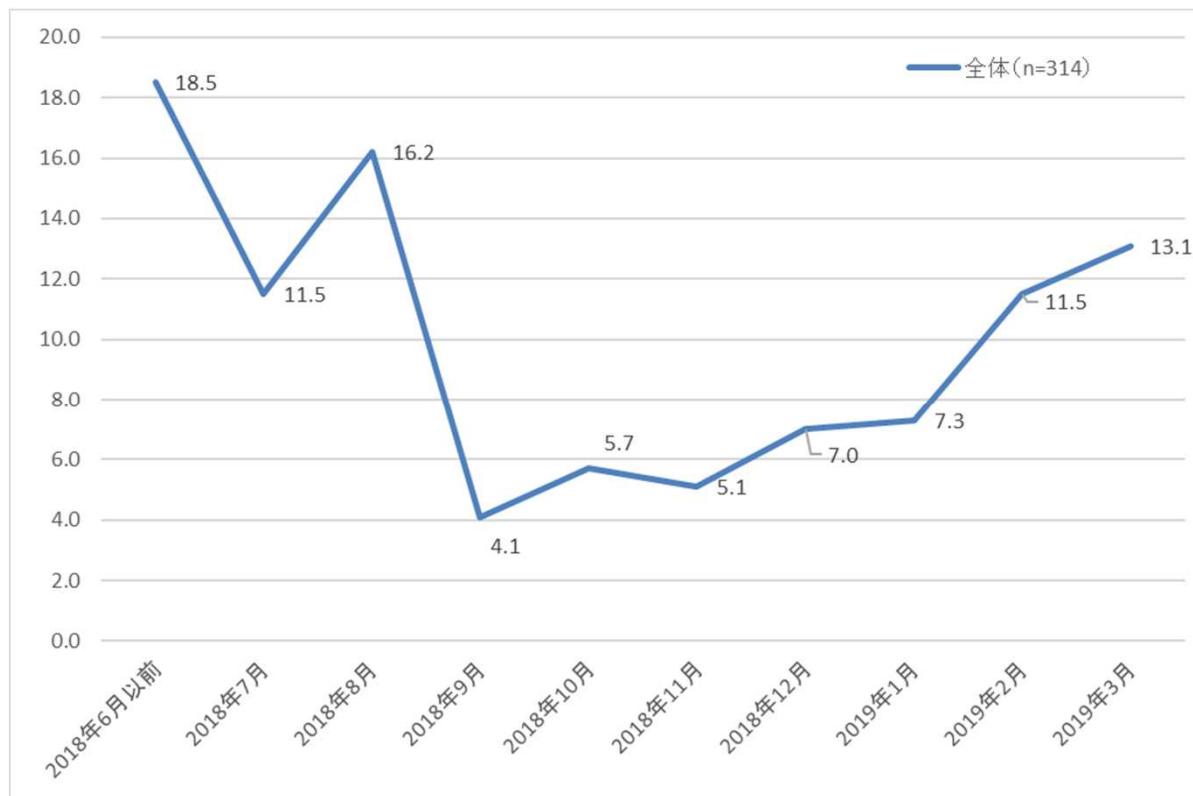
n	2018年6月以前	2018年7月	2018年8月	2018年9月	2018年10月	2018年11月	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月	
全体	6	-	-	-	16.7	-	-	33.3	33.3	-	50.0

(1) 就職活動開始時期

◆ 大学3年生の学生に、就職活動を開始した時期を聞いた。

➢ 「3年生の6月以前」に活動を開始している学生が18.5%、「3年生の8月」までの累計は46.2%と約半数に迫る。3年生の夏休みを利用してのインターンシップへの参加と、それに向けての活動開始を表す数字と考えられるが、結果的に活動の早期化と長期化を招く結果となっている。

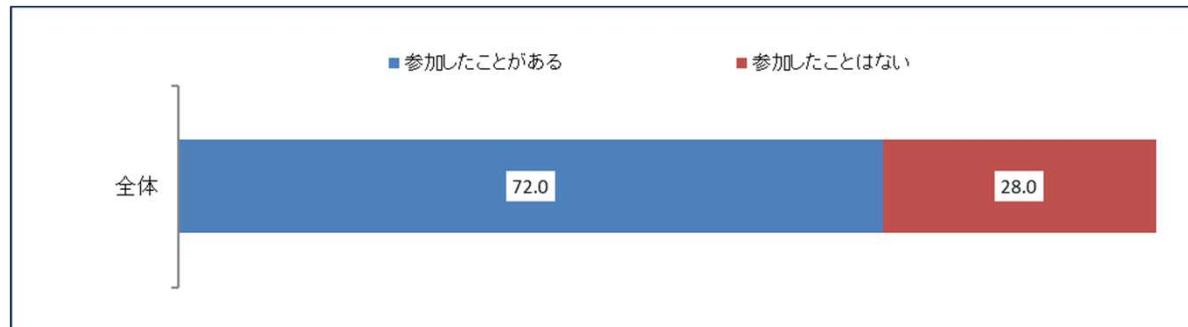
図・表. 就職活動開始時期(%)



(2) インターンシップの参加

➤ 調査時点(3月上旬)で、全体で72.0%の学生が「インターンシップに参加した」と回答した。

図・表. インターンシップの参加(%)

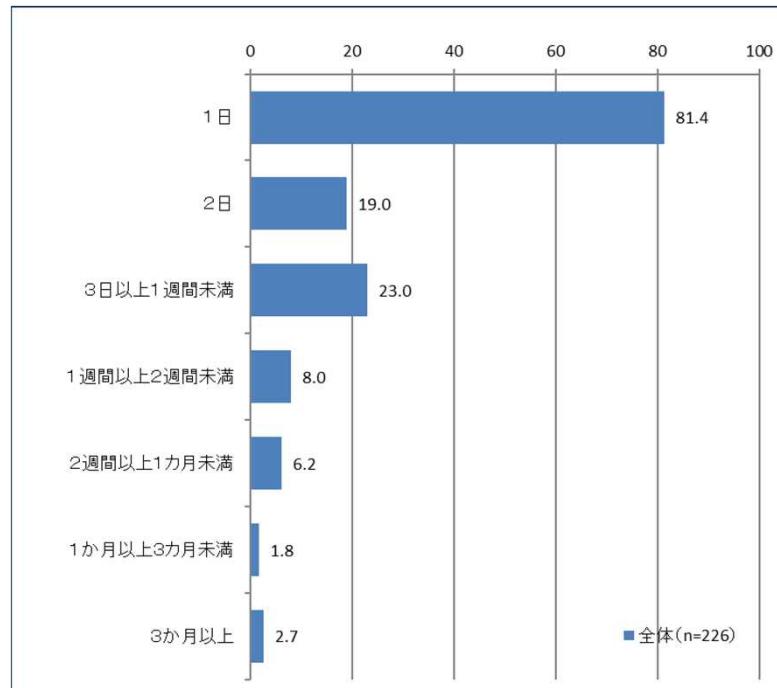


	n	参加したこと がある	参加したこと はない
全体	314	72.0	28.0
男性	150	72.7	27.3
女性	164	71.3	28.7
文系	214	72.0	28.0
理系	94	71.3	28.7
文系 × 男性	92	68.5	31.5
文系 × 女性	122	74.6	25.4
理系 × 男性	56	78.6	21.4
理系 × 女性	38	60.5	39.5

(3) インターンシップの参加期間

➤ インターンシップの参加期間は、「1日」が81.4%で最も多く、企業側のワンデーインターンシップ導入傾向が続いている。

図・表. インターンシップの参加期間(%)

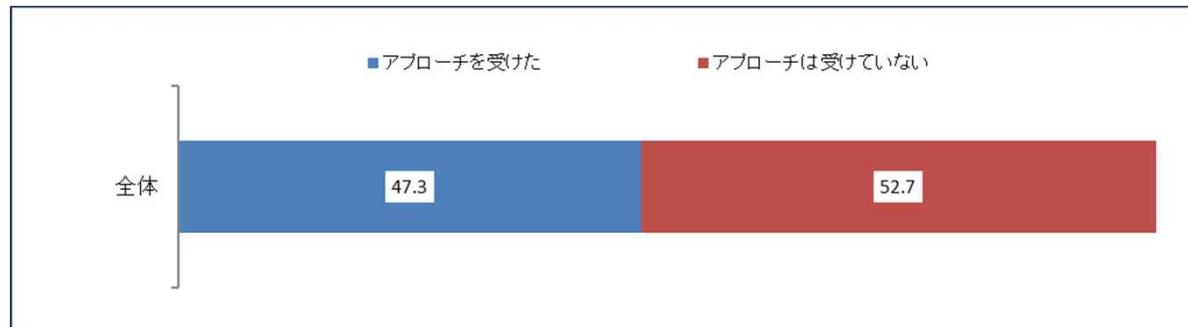


	n	1日	2日	3日以上 間未満	1週 間未満	1週間以上 2週間未満	2週間以上 1ヶ月未満	1ヶ月以上 3ヶ月未満	3ヶ月以上
全体	226	81.4	19.0	23.0	8.0	6.2	1.8	2.7	
男性	109	78.9	22.9	22.9	7.3	7.3	2.8	1.8	
女性	117	83.8	15.4	23.1	8.5	5.1	0.9	3.4	
文系	154	85.7	18.2	23.4	6.5	3.9	1.3	3.2	
理系	67	71.6	22.4	22.4	11.9	11.9	3.0	1.5	
文系 × 男性	63	82.5	22.2	23.8	4.8	3.2	1.6	1.6	
文系 × 女性	91	87.9	15.4	23.1	7.7	4.4	1.1	4.4	
理系 × 男性	44	72.7	25.0	22.7	11.4	13.6	4.5	2.3	
理系 × 女性	23	69.6	17.4	21.7	13.0	8.7	-	-	

(4) インターンシップ参加企業からのアプローチ

- インターンシップに参加した企業から、参加後に何らかのアプローチを受けた学生は約半数の47.3%となっている。
- 女性(40.2%)よりも男性(55.0%)の方が、アプローチを受けた率が高い。

図・表. インターンシップ参加企業からのアプローチ(%)

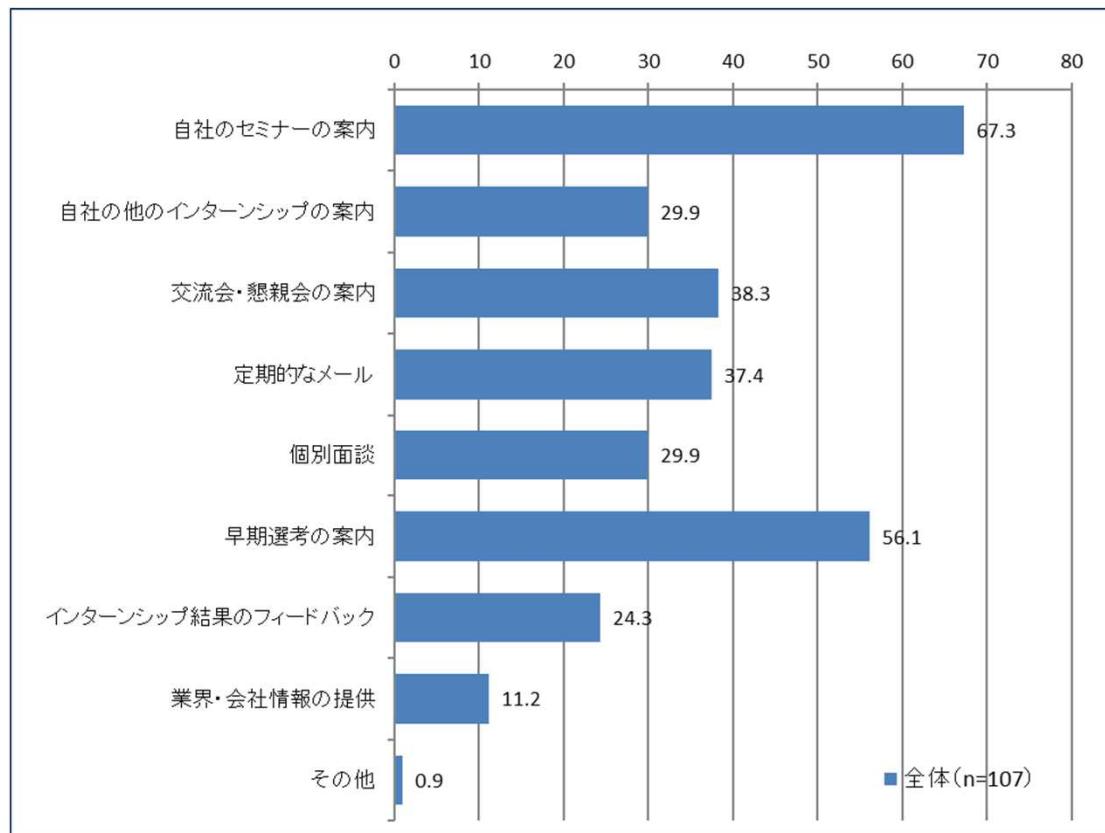


	n	アプローチを 受けた	アプローチは 受けていない
全体	226	47.3	52.7
男性	109	55.0	45.0
女性	117	40.2	59.8
文系	154	48.1	51.9
理系	67	44.8	55.2
文系 × 男性	63	57.1	42.9
文系 × 女性	91	41.8	58.2
理系 × 男性	44	52.3	47.7
理系 × 女性	23	30.4	69.6

(5) インターンシップ参加企業からのアプローチ内容

➤ インターンシップ参加企業からのアプローチの内容としては、「自社セミナーの案内」が67.3%で1位、「早期選考の案内」が56.1%で2位となっており、選考に関する案内が上位を占める。

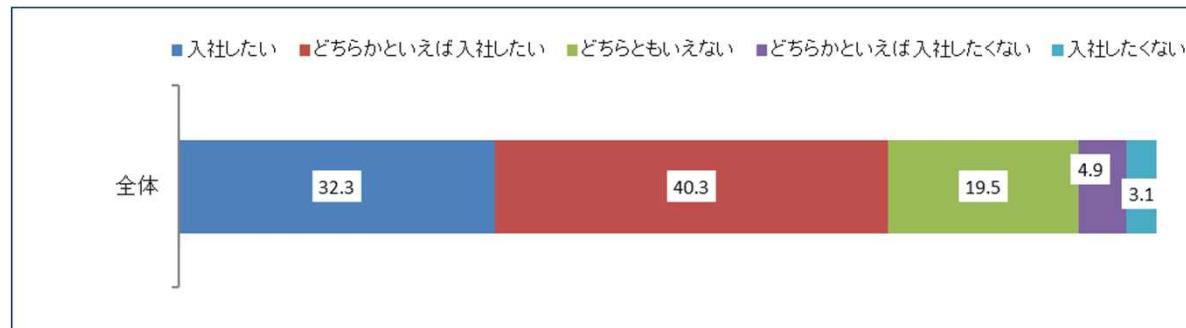
図. インターンシップ参加企業からのアプローチ内容(%)



(6) インターンシップ参加企業への入社意向

➤ インターンシップ参加企業への入社意向については、「入社したい」(32.3%)と「どちらかといえば入社したい」(40.3%)の合計が72.6%に上り、インターンシップが学生の就職活動に大きな影響を与えていくことがうかがえる。

図・表. インターンシップ参加企業への入社意向(%)



	n	入社したい	どちらかとい えれば入社した い	どちらともい えない	どちらかとい えれば入社した くない	入社したくな い
全体	226	32.3	40.3	19.5	4.9	3.1
男性	109	33.0	37.6	21.1	4.6	3.7
女性	117	31.6	42.7	17.9	5.1	2.6
文系	154	33.1	41.6	18.2	4.5	2.6
理系	67	31.3	40.3	20.9	4.5	3.0
文系 × 男性	63	36.5	33.3	22.2	6.3	1.6
文系 × 女性	91	30.8	47.3	15.4	3.3	3.3
理系 × 男性	44	29.5	45.5	18.2	2.3	4.5
理系 × 女性	23	34.8	30.4	26.1	8.7	-

(7) 面接経験

- 調査時点(3月上旬)での面接経験率は、29.3%であった。
- 男性37.3%、女性22.0%で、男性が女性を上回った。

図・表. 面接経験(%)

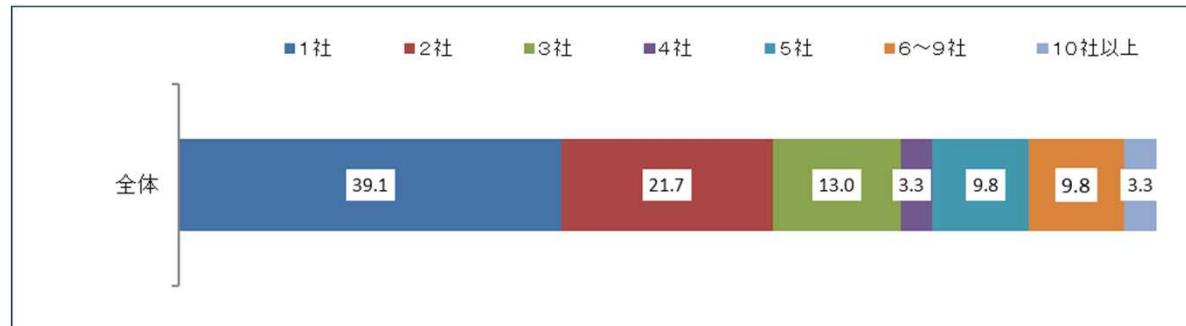


	n	面接を受けた ことがある	面接を受け たことはない
全体	314	29.3	70.7
男性	150	37.3	62.7
女性	164	22.0	78.0
文系	214	29.4	70.6
理系	94	28.7	71.3
文系 × 男性	92	37.0	63.0
文系 × 女性	122	23.8	76.2
理系 × 男性	56	37.5	62.5
理系 × 女性	38	15.8	84.2

(8) 面接社数

- 面接社数は、「1社」が39.1%、「2社」が21.7%であったが、全体の平均では約3社となった。
- 女性よりも男性の方が、平均面接社数が多い傾向にある。

図・表. 面接社数(%)

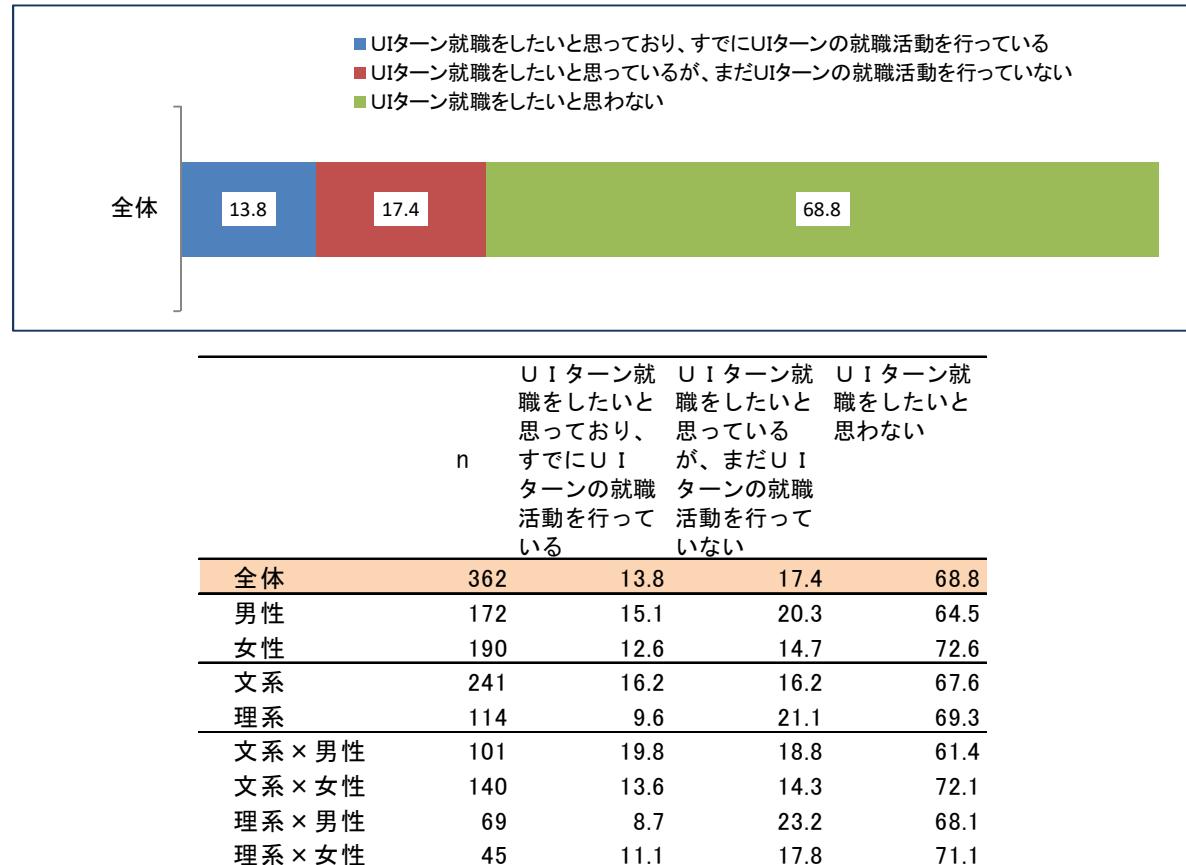


	n	1社	2社	3社	4社	5社	6～9社	10社以上	平均
全体	92	39.1	21.7	13.0	3.3	9.8	9.8	3.3	2.99
男性	56	39.3	17.9	12.5	1.8	12.5	10.7	5.4	3.34
女性	36	38.9	27.8	13.9	5.6	5.6	8.3	—	2.44
文系	63	39.7	23.8	14.3	1.6	6.3	11.1	3.2	2.84
理系	27	40.7	14.8	7.4	7.4	18.5	7.4	3.7	3.37
文系 × 男性	34	44.1	20.6	11.8	—	5.9	11.8	5.9	3.03
文系 × 女性	29	34.5	27.6	17.2	3.4	6.9	10.3	—	2.62
理系 × 男性	21	33.3	14.3	9.5	4.8	23.8	9.5	4.8	3.86
理系 × 女性	6	66.7	16.7	—	16.7	—	—	—	1.67

(9) UIターン就職意向

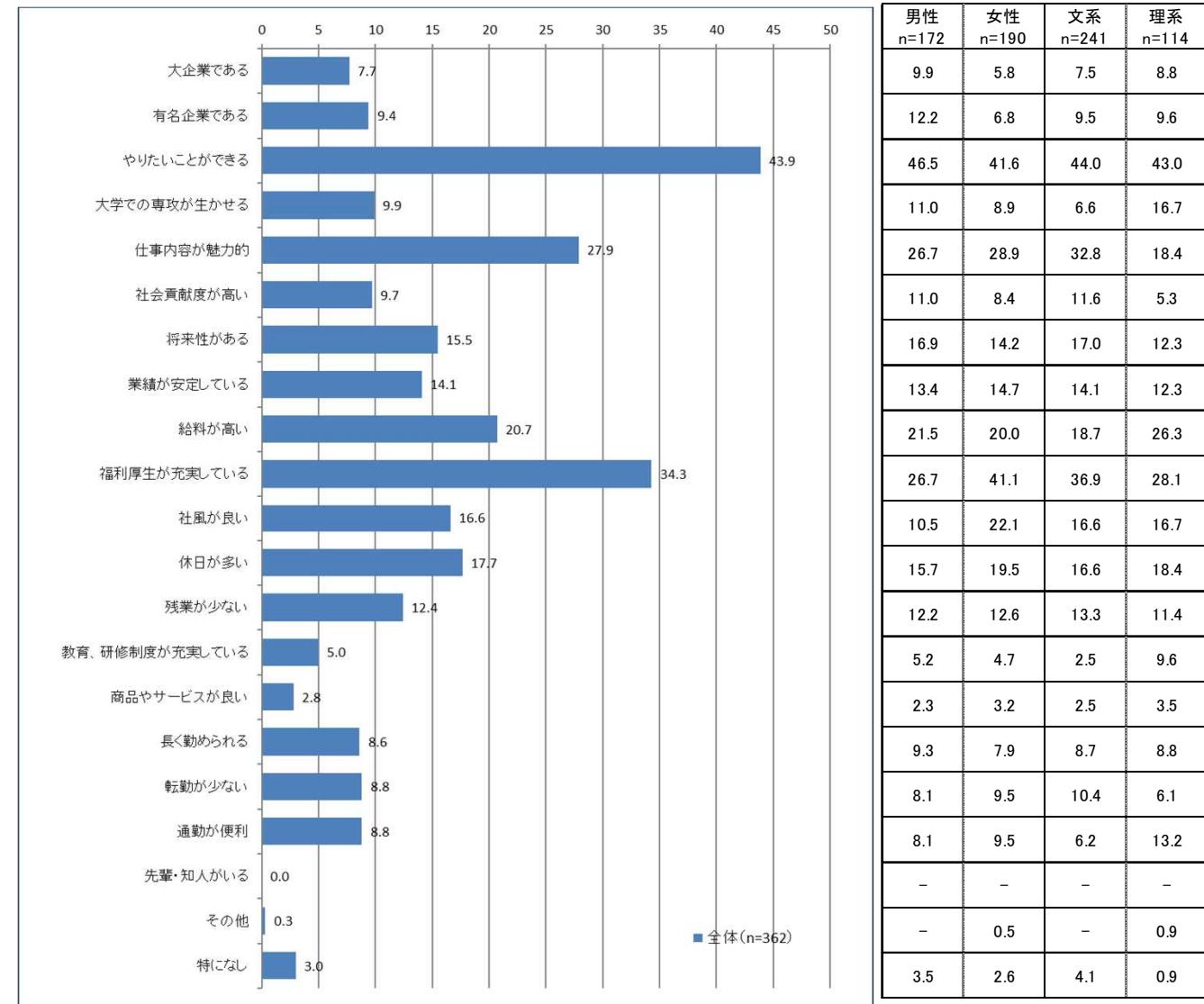
➤ UIターン就職希望者は、全体の31.2%となっており、すでにUIターンノ就職活動を行っている学生は、13.8%であった。

図・表. UIターン就職意向(%)



- 就職先を選ぶときに重視する項目を3つまで選ばせた結果、「やりたいことができる」が43.9%と最も多い結果となった。
- 次いで「福利厚生が充実している」が34.3%と高いが、特に女性で支持されている。文系学生では「仕事内容が魅力的」も32.8%と高い。

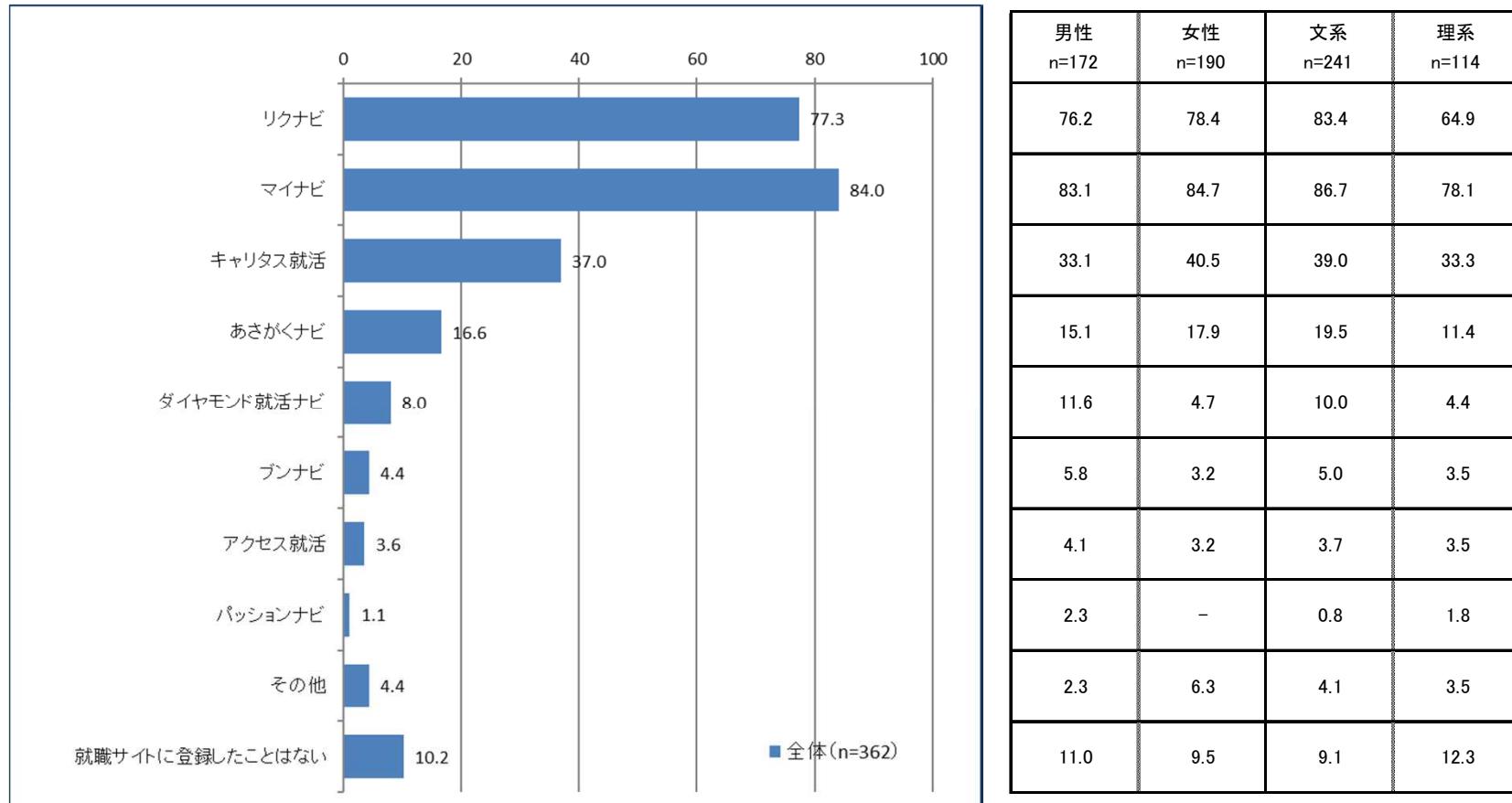
図・表. 就職先の基準(%)



(1) 就職情報サイトへの登録

- 登録している就職サイトについては、「マイナビ」が84.0%で最も多く、「リクナビ」が77.3%、「キャリタス就活」が37.0%で続き、この3社が寡占状態となっている(複数回答)。

図・表. 就職情報サイトへの登録(%)



(2) キャリアセンター利用有無

- キャリアセンターまたは就職課を「利用したことがある」が61.9%で「利用したことがない」が38.1%となっている。
- 理系よりも文系学生で利用率が高い。

図・表. キャリアセンター利用の有無(%)

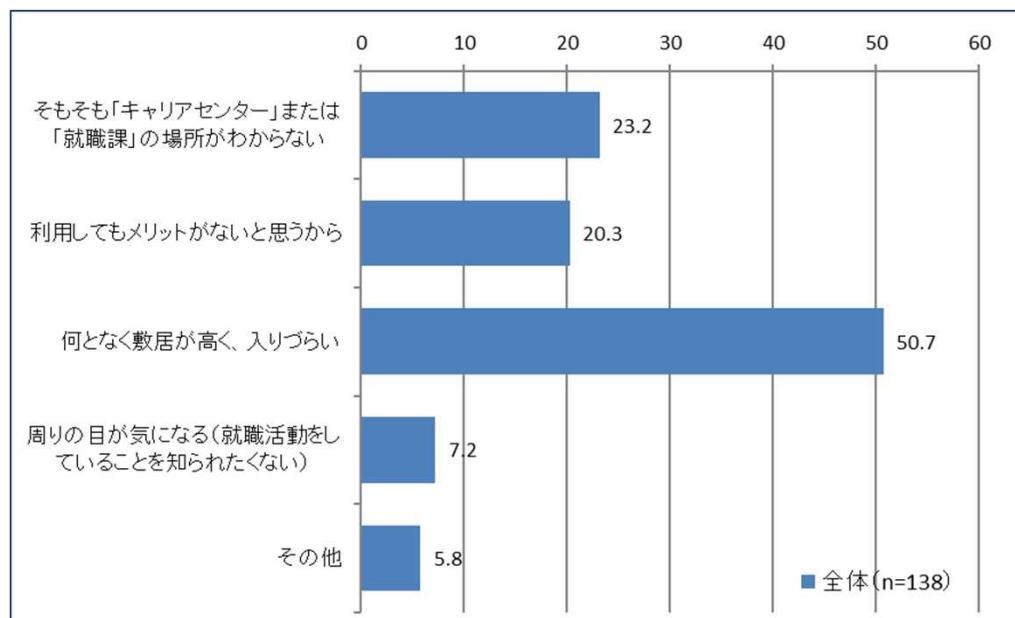


	n	利用したこと がある	利用したこと がない
全体	362	61.9	38.1
男性	172	61.6	38.4
女性	190	62.1	37.9
文系	241	67.2	32.8
理系	114	49.1	50.9
文系 × 男性	101	67.3	32.7
文系 × 女性	140	67.1	32.9
理系 × 男性	69	52.2	47.8
理系 × 女性	45	44.4	55.6

(3) キャリアセンター非利用理由

- キャリアセンターを利用しない理由としては、「何となく敷居が高く入りづらい」が50.7%で最も多く、「そもそも場所がわからない」が23.2%、「利用してもメリットがない」が20.3%と続く。

図・表. キャリアセンター非利用理由(%)

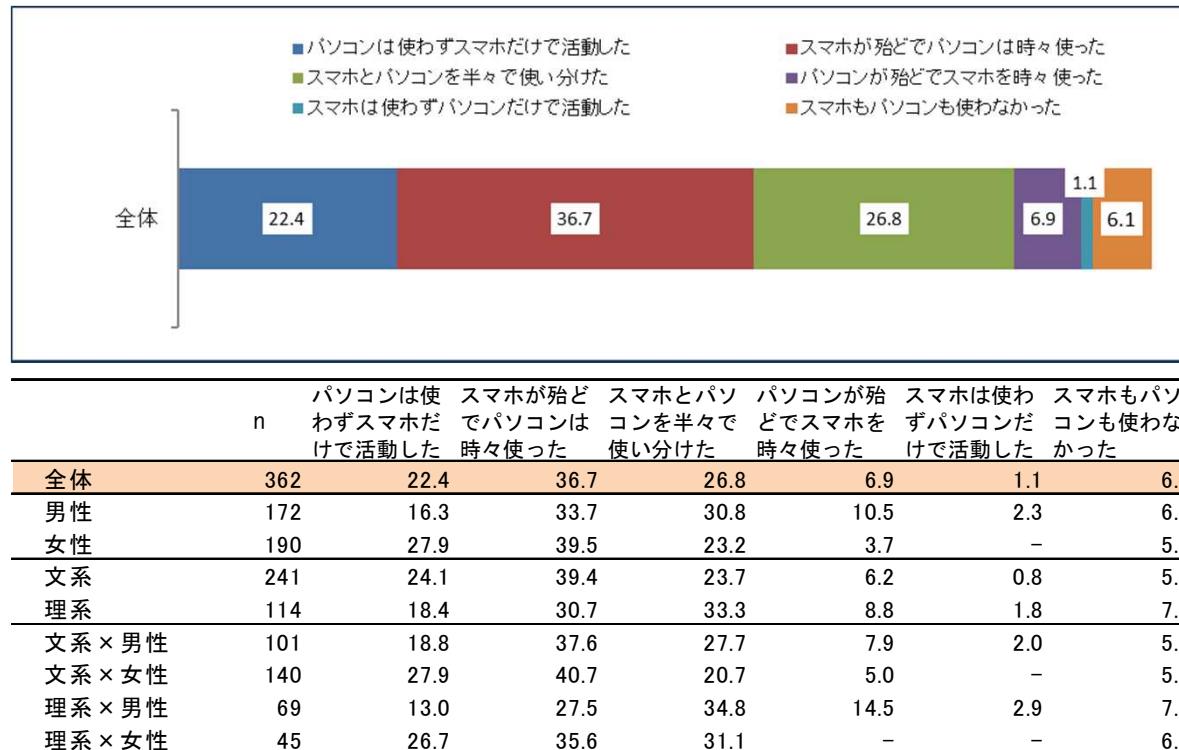


男性 n=66	女性 n=72	文系 n=79	理系 n=58
19.7	26.4	17.7	31.0
19.7	20.8	24.1	15.5
50.0	51.4	50.6	50.0
9.1	5.6	7.6	6.9
7.6	4.2	6.3	5.2

(4) 就職活動でのスマホとPCの活用

- 就職活動でのスマホとパソコンの活用度合は、「パソコンは使わずスマホだけで活動」と「スマホが殆どでパソコンは時々使う」の合計が59.1%で、「パソコンが殆どでスマートを時々使う」と「スマートは使わずパソコンだけで活動」の合計の8.0%を大きく上回り、学生のスマート依存が明確なものとなっている。
- 特に女性でスマート活用率が高い。

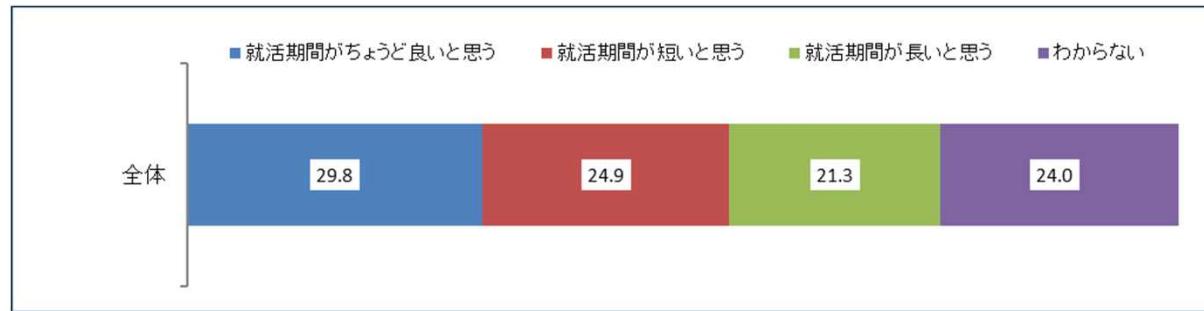
図・表. 就職活動でのスマートとPCの活用(%)



(1) 就活スケジュールの評価

- 前年通りとなった就活スケジュール(3年生の3月に広報開始、4年生の6月から選考開始)については、就活期間が「ちょうど良い」「短いと思う」「長いと思う」が大差なく三分される結果となった。
- 活動の本格化がまだこれからということと、ほとんどの学生がまだ結果が出ていないということも影響していると思われる。

図・表. 就活スケジュールの評価(%)

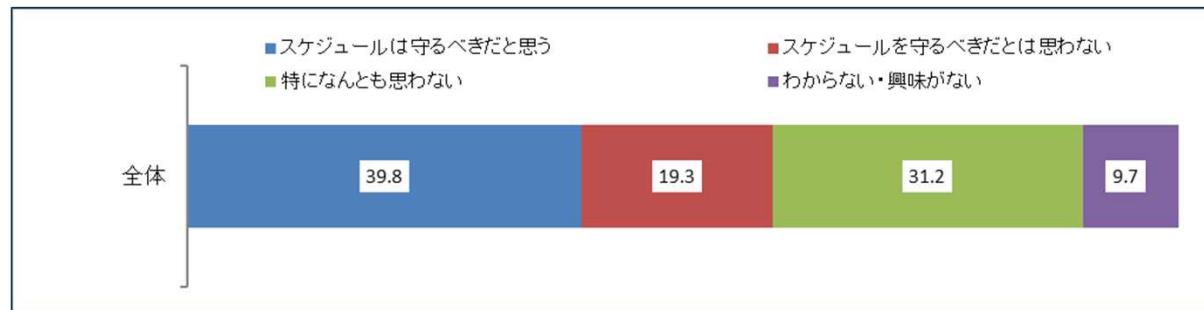


	n	就活期間がちょうど良いと思う	就活期間が短いと思う	就活期間が長いと思う	わからない
全体	362	29.8	24.9	21.3	24.0
男性	172	29.1	31.4	16.3	23.3
女性	190	30.5	18.9	25.8	24.7
文系	241	29.9	22.4	22.4	25.3
理系	114	28.1	31.6	18.4	21.9
文系 × 男性	101	31.7	28.7	12.9	26.7
文系 × 女性	140	28.6	17.9	29.3	24.3
理系 × 男性	69	26.1	36.2	18.8	18.8
理系 × 女性	45	31.1	24.4	17.8	26.7

(2) 就活スケジュールの順守

- 昨年秋の経団連の「就活ルール廃止」発表や、売り手市場による企業側の活動早期化の動きがある中、「スケジュールは守るべき」が39.8%と、「守るべきとは思わない」の19.3%を大きく上回った。
- また、「特になんとも思わない」という無関心回答も31.2%と高い数字になっている。

図・表. 就活スケジュールの順守(%)

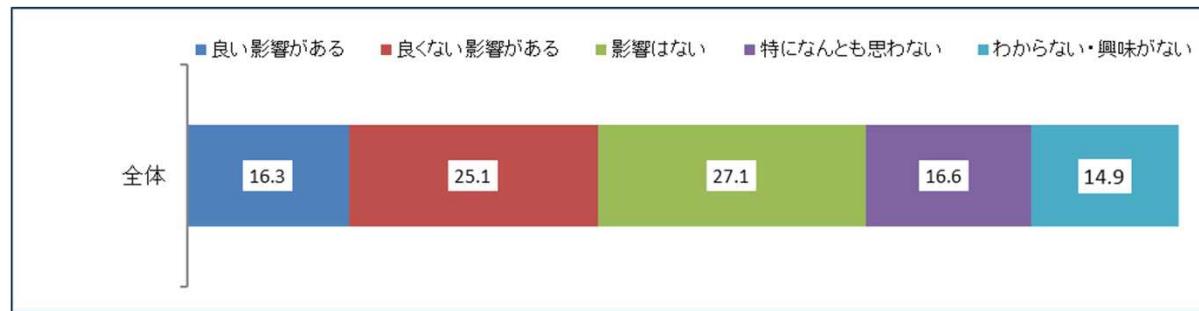


	n	スケジュール は守るべきだ と思う	スケジュール を守るべきだ とは思わない	特になんとも 思わない	わからな い・興味がない
全体	362	39.8	19.3	31.2	9.7
男性	172	41.3	19.8	30.2	8.7
女性	190	38.4	18.9	32.1	10.5
文系	241	38.6	17.8	33.6	10.0
理系	114	42.1	21.9	26.3	9.6
文系×男性	101	42.6	16.8	30.7	9.9
文系×女性	140	35.7	18.6	35.7	10.0
理系×男性	69	39.1	24.6	29.0	7.2
理系×女性	45	46.7	17.8	22.2	13.3

(3) 企業の就活スケジュールの影響

- 企業の採用活動早期化の「就職活動への影響」については、「良くない影響がある」の25.1%が「良い影響がある」の16.3%を上回ったが、「影響はない」という回答も27.1%に上る。
- また、「特になんとも思わない」+「わからない・興味がない」の無関心層も31.5%と多く出現した。

図・表. 企業の就活スケジュールの影響(%)



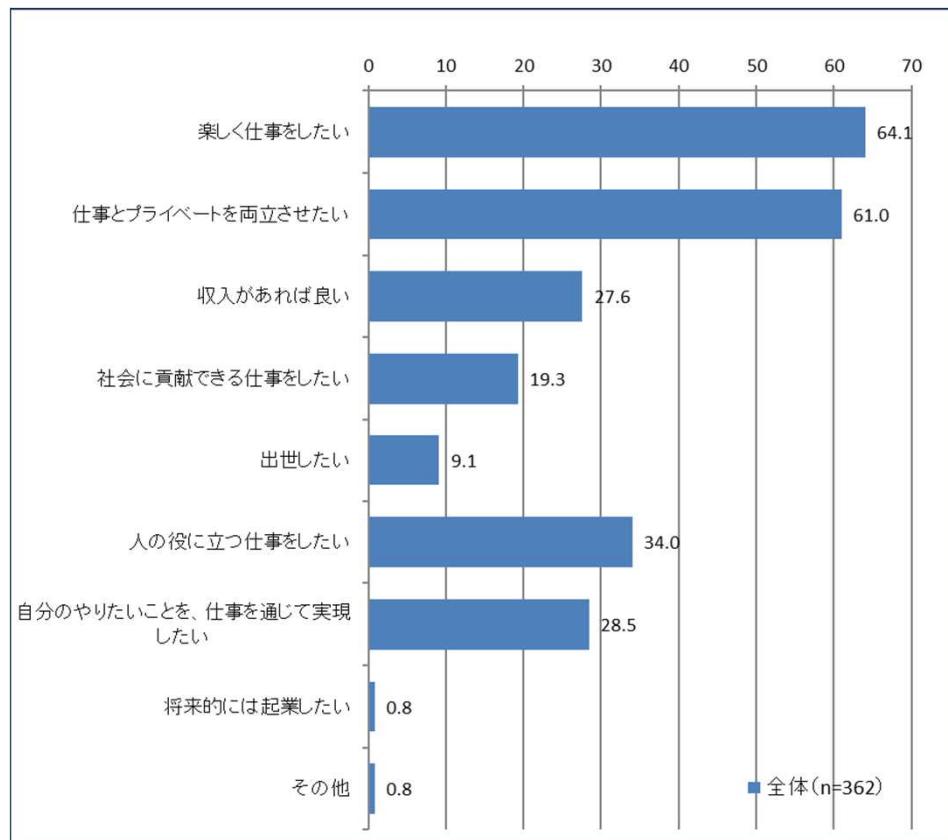
	n	良い影響がある	良くない影響がある	影響はない	特になんとも思わない	わからない・興味がない
全体	362	16.3	25.1	27.1	16.6	14.9
男性	172	18.0	26.7	26.2	13.4	15.7
女性	190	14.7	23.7	27.9	19.5	14.2
文系	241	15.8	25.7	27.4	18.3	12.9
理系	114	18.4	23.7	26.3	11.4	20.2
文系 × 男性	101	16.8	28.7	28.7	13.9	11.9
文系 × 女性	140	15.0	23.6	26.4	21.4	13.6
理系 × 男性	69	20.3	24.6	21.7	11.6	21.7
理系 × 女性	45	15.6	22.2	33.3	11.1	17.8

(1) 仕事観

◆ 就活生に対し、現在どのような仕事観を持っているか尋ねた。

➤ 「楽しく仕事をしたい」64.1%と「仕事とプライベートを両立させたい」61.0%が多く選ばれ、特に女性で高い数字となった。

図・表. 仕事観(%)



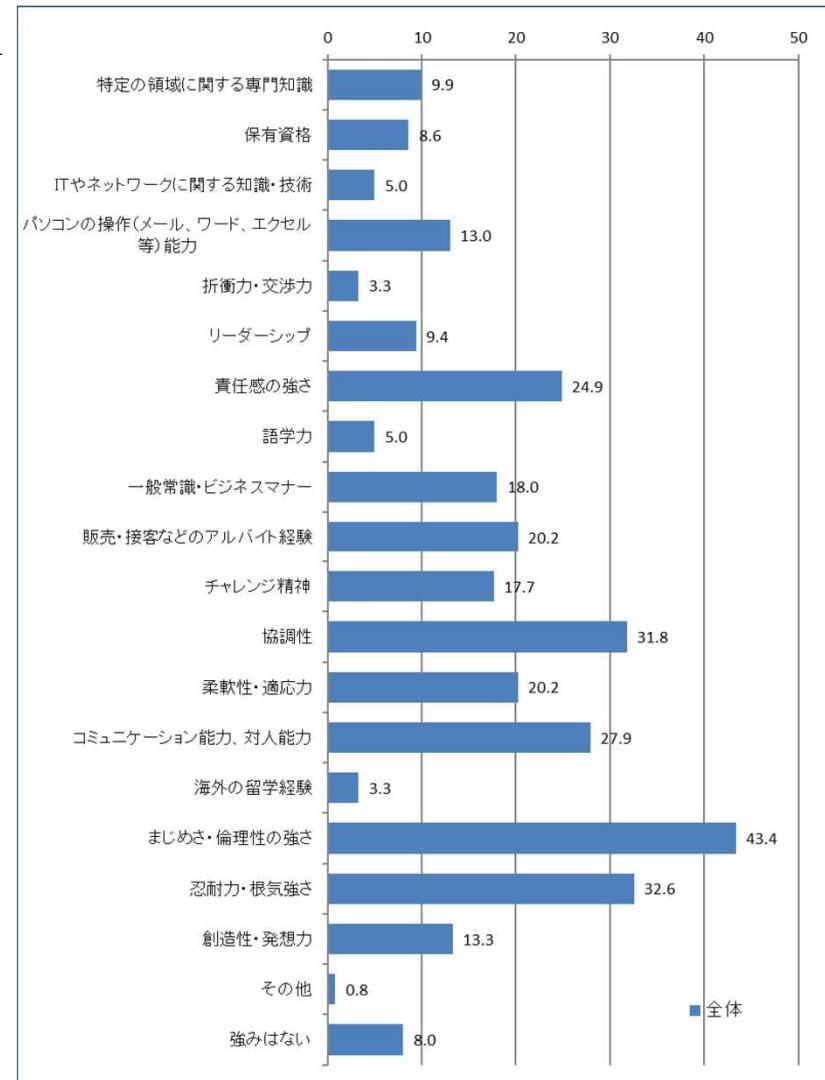
男性 n=172	女性 n=190	文系 n=241	理系 n=114
57.0	70.5	63.5	65.8
52.3	68.9	62.2	56.1
28.5	26.8	27.4	28.9
24.4	14.7	19.1	20.2
10.5	7.9	7.9	12.3
33.1	34.7	34.4	33.3
28.5	28.4	27.8	28.9
0.6	1.1	0.8	0.9
1.2	0.5	0.4	1.8

(2) 職業能力に対する自身の強み

◆ 職業能力に対する自身の強みを尋ねた。

➤ 「まじめさ・倫理観の強さ」が43.4%と最も多く、次いで「忍耐力・根気強さ」32.6%、「協調性」31.8%などが高い数字となった。

図・表. 職業能力に対する自身の強み(%)



男性 n=172	女性 n=190	文系 n=241	理系 n=114
14.0	6.3	7.9	14.9
8.1	8.9	7.1	11.4
8.1	2.1	2.9	9.6
13.4	12.6	11.6	14.9
5.2	1.6	2.5	4.4
8.7	10.0	7.9	12.3
23.3	26.3	24.1	25.4
3.5	6.3	4.6	6.1
18.6	17.4	18.3	18.4
12.8	26.8	21.2	17.5
19.8	15.8	17.4	18.4
28.5	34.7	30.7	33.3
15.1	24.7	21.6	16.7
20.3	34.7	27.8	28.1
4.1	2.6	3.3	3.5
43.0	43.7	44.8	40.4
29.1	35.8	34.9	26.3
12.8	13.7	11.2	17.5
1.2	0.5	0.4	1.8
10.5	5.8	7.5	9.6

『大学生の就職活動実態』に関するアンケート

本調査は、一般財団法人 雇用開発センターが、就職活動を行う学生の皆様に活動の実態をお伺いし、今後の財団の支援事業の参考とさせて頂くことを目的としたもので、イプソス株式会社はこの調査を受託しております。

ご多忙中恐縮ではございますが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

一般財団法人 雇用開発センター
https://www.earc.or.jp/
イプソス株式会社
http://www.ipos.com/ja-jp

Q1 生年月	生年月をお知らせください。	()年 ()月 ※フルダウント	FA	全員
Q2 性別	性別をお知らせください。	1 男性 2 女性	SA	全員
Q3 職業／学校種別	あなたは現在、学生ですか。 学生の方は、どちらの学校に通っていますか。	1 四年制大学(大学院含む) 2 短期大学・高専・専門学校 3 学生ではない(会社員・フリーター・浪人生含む)	SA	全員
Q4 学年	あなたの学年(3月現在)をお知らせください。	1 大学1年生 2 大学2年生 3 大学3年生 4 大学4年生 5 大学院1年生 6 大学院2年生	SA	Q3=1
Q4-1 卒業年次	あなたが、現在の学校を卒業するのは(予定を含む)、いつですか。(1つだけ)	1 今年(2019年の3月) 2 来年(2020年の3月) 2 再来年度以降	SA	Q4=3
Q5 就職活動	あなたは、就職活動をしましたか。または、就職活動をしていますか。(1つだけ)	1 すでに就職活動を終えた 2 現在、就職活動中である 3 まだ就職活動をしていない 4 就職活動をするつもりはない	SA	Q4-1=2

<以下はQ5=1~2を全員>とする

*ここからは、内々定の状況についてお伺いします。

Q6 内々定の状況	あなたはこれまでに、内々定を受けたことがありますか。(1つだけ) 内々定をすでに辞退した場合も「受けた」に含みます。	1 内々定を受けた 2 まだ、内々定を受けていない	Q7 SA	全員
Q7 内々定数	あなたは、合計で何社の内々定を受けられましたか。	()社 ※1~99	FA	Q6=1
Q8 内々定期間	あなたは、何月頃に内々定をうけましたか。(いくつでも)	1 2018年6月以前 2 2018年7月 3 2018年8月 4 2018年9月 5 2018年10月 6 2018年11月 7 2018年12月 8 2019年1月 9 2019年2月 10 2019年3月	MA	Q6=1
Q9 内々定の辞退	あなたはこれまでに、内々定の辞退をしたことがありますか。(1つだけ)	1 内々定の辞退をしたことがある 2 内々定の辞退をしたことがない	Q10 SA	Q6=1
Q10 内々定辞退数	あなたは、合計で何社の内々定を辞退しましたか。	()社 ※1~99	FA	Q9=1
Q11 内々定期間	あなたは、何月頃内々定を辞退しましたか。辞退した月をすべてお答えください。(いくつでも)	1 2018年6月以前 2 2018年7月 3 2018年8月 4 2018年9月 5 2018年10月 6 2018年11月 7 2018年12月 8 2019年1月 9 2019年2月 10 2019年3月	MA	Q9=1
Q12 就職活動の開始時期	あなたは、就職活動をいつ頃から始めましたか。(1つだけ)	1 2018年6月以前 2 2018年7月 3 2018年8月 4 2018年9月 5 2018年10月 6 2018年11月 7 2018年12月 8 2019年1月 9 2019年2月 10 2019年3月	SA	全員

*ここからは、就職活動(インターンシップ含む)のことについてお伺いします。

Q13 インターンシップの参加	あなたはこれまでに、インターンシップに参加したことがありますか。(1つだけ)	1 参加したことがある 2 参加したことない	Q14	SA	全員
Q14 インターンシップの参加期間	「インターンシップ」の参加期間はどれくらいでしたか。 複数参加された方は、参加したことのある「期間」をすべてお知らせください。(いくつでも)	1 1日 2 2日 3 3日以上1週間未満 4 1週間以上2週間未満 5 2週間以上1ヶ月未満 6 1か月以上3ヶ月未満 7 3か月以上	MA	Q13=1	
Q15 参加企業からのアプローチ	あなたはインターンシップに参加した企業から、これまでに何らかのアプローチを受けましたか。(1つだけ)	1 アプローチを受けた 2 アプローチは受けていない	Q16	SA	Q13=1
Q16 アプローチの内容	では、どのようなアプローチを受けましたか。受けたアプローチをすべてお知らせください。(いくつでも)	1 自社のセミナーの案内 2 自社の他のインターンシップの案内 3 交流会・懇親会の案内 4 定期的なメール 5 個別面談 6 早期選考の案内 7 インターンシップ結果のフィードバック 8 業界・会社情報の提供 9 その他()	MA	Q15=1	
Q17 インターンシップ参加企業への入社意向	あなたは、インターンシップに参加した企業に入社したいと思いますか。(1つだけ)	1 入社したい 2 どちらかといえば入社したい 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば入社たくない 5 入社したくない	SA	Q13=1	
Q18 面接経験	インターンシップの選考を除き、企業の面接を受けたことがありますか。(1つだけ)	1 面接を受けたことがある 2 面接を受けたことはない	Q19	SA	全員
Q20 面接社数	企業の面接は何社受けましたか。	()社	FA	Q18=1	
※1~99					

<以下はQ5=1~3を全員とする>

Q20 就職先の基準	あなたが就職先を選ぶときに重視する項目を3つまで選んでください。(3つまで)	3LA	全員
1 大企業である 2 有名企業である 3 やりたいことができる 4 大学での専攻が生かせる 5 仕事内容が魅力的 6 社会貢献度が高い 7 将来性がある 8 業績が安定している 9 給料が高い 10 福利厚生が充実している 11 社風が良い 12 休日が多い 13 残業が少ない 14 教育・研修制度が充実している 15 商品やサービスが良い 16 長く勤められる 17 転勤が少ない 18 通勤が便利 19 先輩・知人がいる 20 その他() 21 特になし			
Q21 UIターン就職の意向	あなたは、UIターン就職をしたいと思いますか。(1つだけ)	SA	全員
1 UIターン就職をしたいと思っており、すでにUIターンの就職活動を行っている 2 UIターン就職をしたいと思っているが、まだUIターンの就職活動を行っていない 3 UIターン就職をしたいと思わない			

※ここからは、就職情報についてお伺いします。

Q22 就職情報サイト	あなたが今までに登録したことのある「就職情報サイト」を、次の中からいくつでもお知らせください。(いくつでも)	1 リクナビ	MA	全員	
		2 マイナビ			
		3 キャリタス就活			
		4 あがくナビ			
		5 ダイヤモンド就活ナビ			
		6 ブンナビ			
		7 アクセス就活			
		8 パッションナビ			
		9 その他()			
		10 就職サイトに登録したことない	兼他		
Q23 キャリアセンター利用の有無	あなたはこれまでに、自分の学校の「キャリアセンター」または「就職課」を利用したことがありますか。(1つだけ)	1 利用したことがある	Q25	SA	全員
		2 利用したことない	Q24		
Q24 キャリアセンターを利用しない理由	あなたが「キャリアセンター」または「就職課」を今まで利用しなかった理由をお知らせください。(いくつでも)	1 そもそも「キャリアセンター」または「就職課」の場所がわからない	MA	Q23=2	
		2 利用してもメリットがないと思うから			
		3 何となく敷居が高く、入りづらい			
		4 周りの目が気になる(就職活動をしていることを知られたくない)			
		5 その他()			
Q25 就職活動でのスマートパソコンの活用	あなたは、就職活動において、スマホとパソコンをどのように活用しましたか。次の中から最も近いものをお選びください。(1つだけ)	1 パソコンは使わずスマホだけで活動した	SA	全員	
		2 スマホが殆どパソコンは時々使った			
		3 スマホとパソコンを半々で使い分けた			
		4 パソコンが殆どスマートを時々使った			
		5 スマホは使わずパソコンだけで活動した			
		6 スマホもパソコンも使わなかった			
Q26 就活スケジュールについて	今年の就活スケジュール(3月エントリー開始、6月選考開始)について、どう思いますか。(1つだけ)	1 就活期間がちょうど良いと思う	SA	全員	
		2 就活期間が短いと思う			
		3 就活期間が長いと思う			
		4 わからない			
Q27 企業の就活スケジュールの順守	企業側は、就活スケジュール(3月エントリー開始、6月選考開始)を守るべきだと思いますか。(1つだけ)	1 スケジュールは守るべきだと思う	SA	全員	
		2 スケジュールを守るべきだとは思わない			
		3 特になんとも思わない			
		4 わからない興味がない			
Q28 企業の就活スケジュールの影響	企業側の採用活動の早期化が取り上げられていますが、あなたの就活に影響がありますか。(1つだけ)	1 良い影響がある	SA	全員	
		2 良くない影響がある			
		3 影響はない			
		4 特になんとも思わない			
		5 わからない興味がない			

※ここからは、あなたの仕事観や職業能力についてお伺いします。

Q29 仕事観	あなたの仕事観に近いと思うものを、次の中から3つまでお選びください。(3つまで)	1 楽しく仕事をしたい	3LA	全員	
		2 仕事とプライベートを両立させたい			
		3 収入があれば良い			
		4 社会に貢献できる仕事をしたい			
		5 出世したい			
		6 人の役に立つ仕事をしたい			
		7 自分のやりたいことを、仕事を通じて実現したい			
		8 将来的には起業したい			
		9 その他()			
Q30 職業能力の自身の強み	次にあげる職業能力それぞれについて、あなたご自身の「強み」だと思うことをいくつでもお選びください。(いくつでも)	1 特定の領域に関する専門知識	MA	全員	
	【1~18までランダム表示】	2 保有資格			
		3 ITやネットワークに関する知識・技術			
		4 パソコンの操作(メール、ワード、エクセル等)能力			
		5 折衝力・交渉力			
		6 リーダーシップ			
		7 責任感の強さ			
		8 語学力			
		9 一般常識・ビジネスマナー			
		10 販売・接客などのアルバイト経験			
		11 チャレンジ精神			
		12 協調性			
		13 柔軟性・適応力			
		14 コミュニケーション能力、対人能力			
		15 海外の留学経験			
		16 まじめさ・倫理性の強さ			
		17 忍耐力・根気強さ			
		18 創造性・発想力			
		19 その他()			
		20 強みはない	兼他		
※あなたご自身についてお伺いします。					
Q31 国公私立	あなたが現在通っている学校は、国公私立のいずれですか。	1 国立	SA	全員	
		2 公立			
		3 私立			
Q32 専攻	あなたの専攻は、文系ですか。理系ですか。	1 文系	SA	全員	
		2 理系			
		3 その他()			
Q33 学校の所在地	あなたの通っている学校の所在地をお知らせください。	47 【47都道府県(ブルダウントラベル)】	SA	全員	
※あなたの志望進路についてお伺いします。					
Q34 志望進路	あなたの卒業後の志望進路をお知らせください。(1つだけ)	1 民間企業で働く	SA		全員
		2 教員・公務員・団体職員として働く			
		3 進学する			
		4 留学する			
		5 起業する			
		6 就職活動を継続する			
		7 その他()			